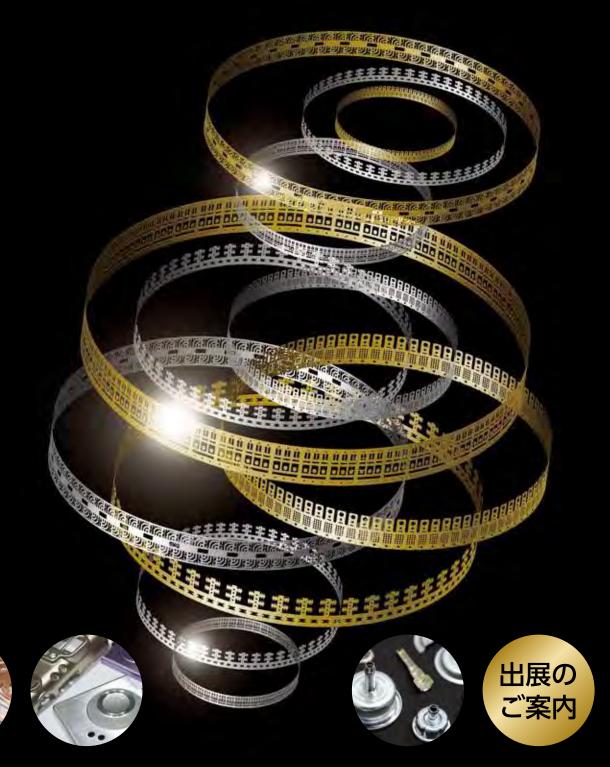
世界基準のプレス技術の進化がここに。



JAPAN METAL STAMPING TECHNOLOGY EXHIBITION

2016年4月20日(水) → 23日(土)

インテックス大阪│10:00 🤊 17:00 ※ただし最終日は16:00まで

http://intermold.jp ■ 主催/一般社団法人日本金属プレス工業協会 ■ 運営/インターモールド振興会





世界基準のモノづくり

日本の基幹産業であるモノづくりを支える

「素形材産業・金属プレス産業」

モノづくりの競争力の源泉となる 優れた技術と信頼性を有する素形材産業 「金属プレス産業」に向けて 最新の金型開発、設計~金型製造~プレス加工の 一貫したソリューションを提案します。

高機能部品、自動車部品 などの軽量化

ロボット技術による 自動化•高効率化

ハイテン材、アルミ合金材など 難加工技術の導入

異素材分野への金属プレス 加工部品への代替提案

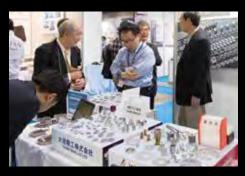
微細加工技術による 高精度、高品質化

異業種、異分野への展開

複合加工技術による 高効率化、低コスト化

CFRP、樹脂部品との複合化

金属プレス加工技術展では、併催する素形材関連展示会と連動し、 最先端の加工ソリューションを提案し、金型、金属プレス加工事業者との ビジネスマッチングを実現させます。







00 000 000 000 000 000 000 000

プレス加工に関する最新設備、最新情報が集結。

素形材産業の専門見本市として、プロフェッショナルが集う 「金属プレス加工技術展2016」に是非ご参加ください。





出展対象

プレス加工機

サーボプレス、機械プレス、 油圧プレス、トランスファープレス、 ファインブラン、キングプレス、 深絞りプレス、粉末成型プレス、 冷・温・熱間鍛造プレスなど

周辺機器

トランスファーシステム、 アンコイラ・レベラ・ループ・ フィーダーなど、材料供給装置、 ロボット・自動化システム、 安全装置、その他関連機器



各種金属プレス 述形サンプル

プレス加工 技術PR



基調講演・特別講演の開催

金属プレス加工メーカー向けセミナーを開催

一般社団法人日本金属プレス工業協会の主催によるセミナーを開講します。 金属プレス業界における最新トピックを取り上げることにより、新技術に関 心の高い来場者(ユーザー)の集客を見込みます。特別講演会では業界著名 人を講師に招き、大手メーカーやユーザーの最新技術や業界動向などを発 表していただきます。

また、技術セミナーでは、金属プレス事業者・プレスユーザーとプレス加工 機メーカーとのコラボレーションにより具体的な技術・設備の導入事例を 交えたセミナーを行います。これらの参加者を展示会場に誘導することに より、出展者にとって意義の高いビジネスマッチング空間を創出します。

2015年 実績

■特別講演会

自動車用プレス成形技術の将来を探る

コーディネータ/東京大学 名誉教授 工学博士 中川 威雄氏

- ■日時/2015年4月17日(金) 13:00~17:00
- 会場/東京ビッグサイト 会議棟6F 会議室605/606
- ■主催/一般社団法人日本金属プレス工業協会

講演 1 13:00~13:50

グリーンモビリティー戦略: 部材軽量化のための塑性加工技術

名古屋大学 大学院 工学研究科/中部大学 工学部 教授 石川 孝司氏

講演 2 14:00~14:45

素材がかわる。クルマがかわる。 ~先端材料が拓く未来~

東レ(株) オートモーティブセンター 所長 山中 亨氏

講演 3 14:55~16:00

「もっといいクルマづくり」に向けた トヨタの金型造りにおける取り組み

トヨタ自動車(株) プレス生技部 第1プレス技術室 室長 紅林 道治氏

講演 4 16:10~17:00

激動するインドの自動車市場 ~新政権で期待される未来~

東京大学 大学院 経済学研究科 ものづくり経営研究センター 特任研究員 伊藤 洋氏



2015年 開催実績(東京)

開催データ

■ 開催概要 ※下記概要データは3展を合計

名	称	金属プレス加工技術展2015		
併	催	INTERMOLD 2015 (第26回 金型加工技術展) 金型展2015		
会	期	2015年4月15日(水)~18日(土)10:00~17:00(最終日は~16:00)		
会	場	東京ビッグサイト 東4ホール・東5ホール(〒135-0063 東京都江東区有明3-10-1)		
出展規模		427社·団体 872小間		
来場者数		47,303人		

■ 来場者数

■ インターモールド 34.429人 ■ 金属プレス加工技術展 6.065人

金型展 6,809人

■ 来場者の地域分類 ※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

北海道地区 0.22% 0.04% 0.49%	北陸地区 3.49% 2.41% 3.71%	近畿地区 7.61% 6.81% 5.92%	九州·沖縄地区 1.16% 0.95% 1.02%	関東地区 60.02% (うち東京都内28.54%)
東北地区	中部地区	中国•四国地区	海外	68.32%
2.80%	18.46%	1.92%	4.33%	(うち東京都内35.43%)
2.59%	15.00%	1.68%	2.20%	66.05%
3.43%	15.93%	1.33%	2.14%	(うち東京都内29.68%)

■ 海外来場者の地域 | 合計1,770人(3展合計)

韓国、中国、台湾、マレーシア、アメリカ、シンガポール、ドイツ、ガーナ、パキスタン、スリランカ、インド、フィリピン、 セネガル、タイ、フランス、イタリア、インドネシア、メキシコ、ベトナム、デンマーク、ニュージーランド、オランダ、イギリス、 香港、ロシア、エクアドル、リトアニア、ガンビア共和国、アラブ首長国連邦、モンゴル

■ 併催企画(一部抜粋)

●基調講演 「自動車産業を支える日本自動車部品工業会(JAPIA)」の取り組み 一般社団法人日本自動車部品工業会 会長 日本発条株式会社 代表取締役社長 玉村 和己氏

特別講演会「自動車の技術動向~環境や自動運転と部品技術の取り組み」 (一社)日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島 正秀氏

「3Dプリンタトップシェアのストラタシスによる、 ●特別セミナ-ものづくりにおける最新トレンド RPからDDMへ ~試作の枠を超え、製造現場で活躍する3Dプリンティング・ソリューション~」

講演1 「3Dプリンティングがもたらすインジェクションモールディングの短期化への大きな一歩」 Stratasys Inc. パーティカル・ソリューション事業部 製造ツール シニアマネージャー ナダブ・セッラ氏(Nadav Sella)

講演2 「デジタルモールド技術が設計開発現場にもたらす課題と可能性」 有限会社スワニー代表取締役社長 橋爪 良博氏

●第7回「学生金型グランプリ」

試作・デザイン・解析&3Dプリンティングフェア 自動車部品製造技術フェア/航空機部品製造技術フェア ●主催者特別企画 海外特別セミナー&フォーラム

●テクニカル・ワークショップ 全17セッション開講

●オープンセミナー 全32セッション開講

■ 出展状況

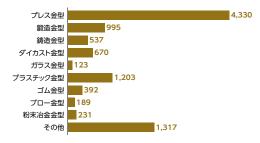
金型・金型材・金型部品等(326社) 工作機械(88社) 工作機械用付属機器など(42社) 切削工具(60社) 機械工具・研磨・砥石関連(53社) 金属加丁関連機器(59社) 各種油剤・ケミカル製品など(34社) プレス加工機(20社)

プレス加工機用周辺機器(33社) プラスチック加丁機械・関連機器(21社) 精密測定機器・光学測定機器(95社) CAD/CAM/CAEシステムなど(71社) 試作・モデリング・3Dプリンター関連(48社) 精密部品加工技術(193社) 各種団体・研究機関など(14社) ロボット・自動化(10社) 図書・文献・資料(8社)

■ 来場者業種分類 | ※各項目の「比率」は小数点 第二位までを表示



■ **分野属性**① **下記数字は回答数を表示 ※複数回答有り



■ 分野属性② | ※下記数字は回答数を表示 ※複数回答有り



出展者一覧

INTERMOLD 2015

INSいめて全部研究会(株式会社サンアイ幕機、和田工業株式会社) 愛知産業株式会社 株式会社アイピーエス 株式会社アイピーエス 株式会社のアンタマシンツール アルテック株式会社 株式会社のアンタマシンツール イスカルジャパン株式会社 株式会社イズミコーポレーション 株式会社イグラス 株式会社イグワント 株式会社イグワンール(有限会社ツール・ディスカパリー) 株式会社イグワンール(有限会社ツール・ディスカパリー) 株式会社イグワンール(有限会社ツール・ディスカパリー)

近畿精工株式会社

株式会社先端力学シミュレーション研究所 株式会社タカオ設計事務所 日本ユニシス・エクセリューションズ株式会社 株式会社ハヤシ ク工業株式会社 パルステック工業株式会社 株式会社筆村金型 若國精機株式会社 株式会社分和製作所 株式会社力ナック 関東物産株式会社 カールツァイス株式会社 一般財団法人機械振興協会 技術研究所 キャルタ7 株式会社 キャムタス株式会社 キヤノン電子株式会社 株式会社キーエンス 自敷機械株式会社 株式会社の5/0-ケーヴパコーポルーション株式会社、株式会社三興製作所) 株式会社グリーングラスト 株式会社グリーングラスト 株式会社小坂研究所コダマコーポレーショ ーション株式会社 コノマコーハレーンヨン株式会社 祭製機株式会社 株式会社ササヤマ 株式会社サン工機(株式会社アストロテック、株式会社NaITO) 株式会社サンコー 和商工株式会社 三和商工株式会社 株式会社。 株式会社システムクリエイト 信濃機版株式会社 清水電銀工業株式会社 株式会社シリルゲーロイ SHENZEN ISSON PLASTIC MOULD CO_ITD(株式会社ワイテック) 株式会社C&Gシステムズ 株式会社C&Gシステムズ 株式会社CGTech 株式会社シー・アイ・エム総合研究所 株式会社シー・アイ・エム総合研究所 株式会社JMC

リクリエイト株式会社 株式会社JSOLI GENO Solution株式会社(株式会社コーズコーポレーション) 株式会社ジェーピーエム 一般社団法人、次世代塾師空機部品供給ネットワーク OWOブース 宏栄スプリング工業株式会社 高砂電気工業株式会社 大式会社東京チターウム 日東商事株式会社 野田金型有限会社 株式会社ミナミダ ジャイク・フィールド株式会社 長でマシニングリリューションズ株式会社 株式会社ジージップテクノロジー 株式会社ジーベックテクノロジー 株式会社スリーエー産業 株式会社スリーエー産業 株式会社イコーアイ・インフォテック 西部電機株式会社 株式会社ゼイラック・フリー 株式会社ゼイラック・フリー 株式会社ゼイラック・フリー 株式会社ゼイラック・フリー 株式会社ゼイラック アメルに株式会社 株式会社ボス会社 表記会社がよる会社 ノクリエイト株式会社

※和ILDuk本以会性 株式会社ソディック 株式会社ソディック ソマックス株式会社 象印チェンプロック株式会社 太陽物性状式社協耕補認的有限公司、和型五金製品有限公司 株式会社クカノ 多質電気株式会社 ナビ収到審練性計会社

多質電気株式会社 ダイジェット工業株式会社 ダイジェット工業株式会社 大連金型工業団地弁公室 伊達機械株式会社 中日クラフト株式会社 ZOLEN Japan株式会社 ツールドインターナショナル株式会社 TACC株式会社 テクノコート株式会社 株式会社テクノソリューションズ

株式会社ディーメック 株式会社デルキャムジャパン 株式会社データ・デザイン 株式会社東京精密 東京貿易テクノシステム株式会社 東芝機械株式会社 果之機械休式云ゼ 東レエンジニアリング株式会社 株式会社トリオエンジニアリング トニョーエイテック株式会社トリオセラミックス) トニョーエイテック株式会社

株式会社トリオエジジニアリング(株式会社トリオセラミットーヨーエイテック株式会社 株式会社ナカニシー 中日本原工業株式会社 株式会社ナガセインデグレックス 漫速数工株式会 株式会社ナガンフト 株式会社日和工業新聞社 日工機材株式会社 日本製紙プシア株式会社 日本製紙プシア株式会社 日本工業社が上が上がまる社 日本工業社が展示会社 日本工業社が展示会社 日本工業社の事情が表され 一般社団法人日本自動車部品工業会プース 協和工業株式会社 一般社団法人日本自動車が出工業会プース 協和工業株式会社 一般社団法人日本自動車が出工業会プース 協和工業株式会社 一和エスプリング株式会社 中庸スプリング状式会社 日本発条株式会社 ファインツール・ジャイン株式会社 ス島工業株式会社 日本発来採い云紅ファインツール・ジャパで株式会社 ケ島工業株式会社 株式会社フイピーシステム 日本スピードショア株式会社(株式会社ヤマシタワークス) 日本製図器工業株式会社 日本レデポン株式会社(株式会社 菱和) 株式会社ネクストサイエン メガ・ジャパで株式会社 生士学会料報が値全 株式会社野村鍍金 ハイウィン株式会社

会場レイアウト/東京ビッグサイト(2015年)



ハイマージャパン株式会社

株式会社WTM 友鉄工業株式会社 友鉄工業株式会社
日本ハトゲウェア一株式会社
一般社団法人日本金型工業会プース株式会社IS DESIGN
明石プラスチック工業株式会社
株式会社アルファーテック
池上金型工業株式会社
株式会社イケックス工業
株式会社イナ上製作所
金融 搭藤町工業体土会社 株式会社井上製作所 魚岸積度工業株式会社 株式会社打田製作所 株式会社内田製作所 株式会社工ムアイモルデ 有限会社エムテックエンジニアリング 大垣精工株式会社 樫山金型工業株式会社 株式会社キメラ キャノンキールド株式会社 キャノンキールド株式会社 中村製作所株式会社 株式会社/打污 株式会社/打污 株式会社-古屋精密金型 日型工業株式会社 日進精機株式会社 財田企业可限会社 橋場殿工株式会社 株式会社橋本了夕二カル工業 日邮精型工株式会社 株式会社橋本子夕二カル工業 個子持機工業株式会社 格式会社橋本子分

株式会社藤岡製作所 株式会社フジタ

金型展 2015

カ

サ

9

株式会社エスワイ精機 株式会社オンサイド 川島金属株式会社

株式会社J·3D 清雅技研株式会社

株式会社ペッカー精工 ベントム工業株式会社 株式会社前田技研 有限会社吉中精工 株式会社リバン・イシカワ 株式会社ワークス 若園精機株式会社 ハ 福州華莉模具(金型)有限公司 サ 株式会社林インターナショナル 金属プレス加工技術展 2015

ヤ ユニコントロールズ株式会社 横山興業株式会社ラ 株式会社レイケン

Bosucc Precision Mould Co.,Ltd Bosucc Precision Mould Co.,Ltd Changhua Diecasting Industries Co., Ltd. DongGuan Dingxin Mold Factory DongGuan Wethink Plastic Mold Co.,Ltd Dongguan Yongsheng Hardware Plastic Co., Ltd. エラスティール HONPE TECHNOLOGY (SHEN ZHEN) Co.,LTD Ka Shin Technologies (S) Pte Ltd HONNE IECHNOLOGY (SHEN ZHEN) CO.LTD Ka Shin Technologies (S) Pte Ltd. SHEVIENSH IN YONGWI PECISION METAL PRODUCTS CO.LTD Thai-German Institute Yoke Industrial Corp. Chen Yi Hardware Manufacture Factory 漢意斯蒂亞民株式會社 東莞市弘铨金型有限公司 Sing Yang Precision Industry Co., Ltd. WELLMEI MOLD AND PLASTICS IND. (HK) Co., Ltd. asiamold arabiamold UKUB -Tool Manufacturers' Association of Turkey Kunshan Dersun Precision Mould Co., Ltd Korea Die & Mold Industry Cooperative ASPIC CO Ltd.
Won Jin Industry Co.
SMC CHUCK 3000 Co., Ltd.
Convergence Mold Development Association SAMKI CORE CO., LTD asiamold

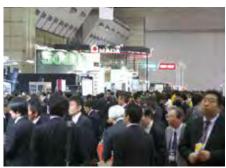
三文金型
Jukwang Precision Co., Ltd.
SHINIL BESTECH Co., Ltd.
Daejeon Die & Mold Cooperation
Dongnam KTC Co., Ltd
POWERTEC CO., LtD.
First M&D Co., LTD.
BLUECORE Co., Ltd.
MUU PRECISION.
Metach Co. Ltd.
MUU PRECISION BLUE-CORE Co.Ltd.
MJU PRECISION
Mstech. Co.Ltd
株式会社次准金型
昆山盐餅精密機具有限公司
嘉興NYC機械工業有限公司
東莞市清登機械有限公司
東莞市清登機械有限公司
東莞市赤鲜精密金型有限公司
東莞市赤鲜精密金型有限公司
東莞市赤鲜精密金型有限公司
東莞市东鲜精密金型有限公司
東莞市东鲜精密金型有限公司
東莞市东鲜精密金型有限公司
東莞市东鲜精密金型有限公司
大型市东京村市公司市大学特别。

Mould Eurasia euromold euromola euromold Brasil 力勝精密模具(珠海)有限公司 RosMould

開催概要/出展料金/申込方法

金属プレス加工技術展 2016 開催概要

名 称	金属プレス加工技術展 2016		
会 期	2016年4月20日(水)~23日(土) 10:00~17:00 ※最終日は16:00まで		
会 場	インテックス大阪(〒559-0034大阪市住之江区南港北1-5-102)		
主 催	一般社団法人日本金属プレス工業協会		
運 営	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)		
協	一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、一般社団法人日本金型工業会、一般社団法人型技術協会、一般財団法人素形材センター、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、日本金属熱処理工業会、一般社団法人日本鋳造協会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本がルブ工業会、日本粉末冶金工業会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益財団法人天田財団、公益財団法人金型技術振興財団(順不同/申請予定)		
公式サイト	http://intermold.jp		
同時開催	INTERMOLD 2016(第27回金型加工技術展) 金型展2016		
予想来場者数	50,000人(同時開催展を含む)		
入 場 料	1.000円(招待券持参者および事前来場登録者は無料)		



出展規程

■ 出展料金

種別	Aタイプ	Bタイプ
一般	320,000円 (出展料金)+消費税	390,000円 (出展料金)+消費税
会員	300,000円 (出展料金)+消費税	370,000円 (出展料金)+消費税
	※会員価格は一般社団法人日本金	属プレス工業協会正会員のみ適用

■ 小間仕様

サイズ/間口約3m×奥行約3m×高さ2.7m(約9m²)

単列または複列を選択(複列は4小間以上の出展に限る)

■ 小間設備内容

Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

Bタイプ(基本装備・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。

Bタイプ設備内容(1小間あたり)



- ●後壁(バック)、側壁(間仕切り)、パラペット、 カーペット
- ●社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- ●受付カウンター(1台)
- ●パイプイス(1脚)
- ●スポットライト(2灯)
- ●蛍光灯(2灯)
- ●コンセント(300W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線丁事費用

※雷気使用料金は別途出展者の負担となります。<参考・前回開催時雷気使用料・1kwあたり2000円(税別)> ※受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。

※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。

申込方法

- 最終ページの出展規程をご了承の上、下記「出展申込みサイト」より お申込みください。
 - https://www.intermold.jp/application/

※出展申込み受付は、2015年8月3日(月)(予定)より開始します。 なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず提出してください。 インターネット環境をお持ちでない場合は、事務局までお問い合わせください。

- 出展申込書裏面に主な出展規程を記載しておりますので、内容を 確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送 される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。
- 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留 またはお断りすることがありますのでご了承ください。 詳細は事務局までお問い合わせください。
- 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込む 場合、AタイプとBタイプを混在して申し込むことはできません。
- 申込出展者以外に共同出展する企業を表記する場合は、出展申込み 後にご案内する「出展者専用ページ(Web)」にて共同出展者名を お知らせください。

申込締切日

2015年12月22日(火)

※ただし、満小間になり次第締切となります。

支払期日

2016年 1月29日(金)

※事務局からの請求により、出展料金全額を指定の銀行口座にお振込み戴きます。

出展対象

グセンタ、ターニングセンタ ドリリングセンタ、各種研削盤、各種立 削り盤、各種フライス盤、各種放電加 工機、各種仕上機械、各種複合加工 機、各種旋盤、各種ボール盤、各種中 ぐり盤、モジュラユニット・専用機、自動 組立機、特殊加工機械(レー 工機・電解加工機など)、金型自動磨 き装置、その他

■工作機器

工作物保持具、工具保持具、付属 品、部分品、付属機械(位置決めテ ブル、切削処理装置、給油潤滑装 胃)、その他

■特殊鋼工具・超硬工具・ダイヤモンド 工具

工具材料、高速度鋼工具、超硬工具、 ダイヤモンド及びCBN工具、サーメット 工具、セラミック工具、その他機械工具

■研削砥石・研磨材

■精密測定器·光学測定機·試験器 ノギス、マイクロメーター、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ、ゲージ、三次元測 定機器、形状・あらさ測定機器、自動 精密測定機器、投影機、金属顕微 鏡、試験機器、その他

■プレス機械

サーボプレス、液圧プレス、機械プレス、

ベンディングマシン、剪断機、鍛造機・ 装置、線材加工機、各種塑性加工 機、その他

■プラスチック加工機械

各種射出成形機、真空成形機、ブロー成形機、真空注型機、圧縮成形機、熱成形機、発砲成形機、押出機、 押出成形装置、遠心成形装置、その他

■プラスチック加工機械周辺機器 および原材料・副資材など

成形機械部品・付属装置、試験機・ 測定機、計器・コントローラ、二次加工 機器、ロボット(取出機・インサート装置 など)、原材料・副資材、成形サンプル (製品・半製品)、その他

■機械系·金型用 CAD/CAM/ CAEシステム

■造形システム(ラピッドプロトタイピ ングシステム)

■試作・モデリング関連

■FA関連機器・装置、NC装置、 自動プログラミング装置

■生産管理システム

●各種金型 プレス用、鍛造用、粉末冶金用、鋳造用、 ダイカスト用、プラスチック用、ゴム用、

ガラス用、窯業用など ●成形サンプル

●試作金型

●各種研究機関・工業会・組合など

■金型材、金型部品、金型加工システム、 金型表面処理、その他関連製品

■金型周辺機器

金型温度調節機、金型自動交換装置、 金型内ガス抜き装置、金型反転機、 金型冷却装置、ホットランナ装置、 ールドベース、金型監視装置、金型 補修機器、その他

■金型メンテナンス関連

■図書·文献·資料

ラ テクニカル・ワークショップ オープンセミナー開催のご案内

プレゼンテーションセミナー(有料)

出展者の展示効果を高めるために、「出展者による新技術発表」「新製品 PR」「ユーザーによる製品活用事例の紹介」など、様々な用途に応じて活用 できるセミナースペース(有料)を設置します。開講を予定もしくは検討 される出展者は、「出展申込書」のセミナー開講希望欄にご記入ください。 なお、開講希望の出展者には、改めて開講申込書をご提出頂きます。



■ テクニカル・ワークショップ

事前登録制、クローズド、オープン形式など、 出展者が目的に応じて運営できるプレゼン テーションセミナーです。

製品・技術のPRセミナーとしてだけではなく、 「ユーザー会」「新製品発表会」のほか、有料 セミナー会場として利用することができます。

会 場 インテックス大阪 会議室または会場内特設会場

定 員 50~100名程度 **^{スクール} 開講料 1時間 / 60,000円(税別)

①11:00~12:00 ②12:30~13:30 ③14:00~15:00

@15:30~16:30 ※プログラムは事務局にて調整を行います。



■オープンセミナー

展示ホール内に、オープン形式の セミナー会場を設けます。来場者は 展示ブースを移動する間に、興味の あるセミナーを自由に聴講できます。 新規顧客に対して、新製品・新技術 のPRが可能となり、自社ブースへ 誘導するチャンスにもなりますので、 展示との相乗効果に期待できます。

会場インテックス大阪展示場内特設会場

展示場内にオープン形式の特設会場を設置します。通路に面した囲いのないオープン形式の会場。 (参考図参照)来場者が自由に聴講できる仕様です。

定員約30名(座席設置数。但し、 立ち見も可能です) 開講や 45分/50,000円(税別)

①10:30~11:15 ②11:30~12:15 ③12:30~13:15 413:30~14:15 \$14:30~15:15 \$615:30~16:15

時間延長は出来ません。

※複数のセッションを開講することも可能です。(複数開講値引き有り) ※プログラムは、事務局にて調整します

テクニカル・ワークショップ 前回開講実績

■株式会社ディーメック

「Microwave Mouldingゴム型を用いた熱可塑性

光成形 統括 栗原 文夫氏

■オートフォームジャパン株式会社

「AutoFormにおける工程最適化とロバストな 見込み補正」 事業開発部 アプリケーション・キーアカウント

エンジニア 鈴木 渉氏

■三菱日立ツール株式会社

「高精度金型加工に向けた新コンセプト [Hi-Pre2]

技術本部 ソリューションセンター 主任技師 城戸 好信氏

■東レエンジニアリング株式会社

「樹脂・複材成形CAEシステム"3D TIMON"に よる設計・開発の革新」

CAEソフト事業部技術課 課長 澤田 聡氏

メック株式会社

「樹脂・金属接合技術『アマルファ』の紹介」 新事業開発室 林 知紀氏

■オートデスク株式会社

「Autodesk Simulation Moldflow 新機能紹介」 シミュレーション スペシャリスト 宮﨑 寿氏

■ブルーム-ノボテスト株式会社

「生産工程の自動化のための機内測定導入の

営業技術部 リーダー 加藤 力也氏

『最適加工方法と最新特化工具で難削材を攻略!』 デザインセンター 加工技術グループ エンジニア

■株式会社牧野フライス製作所

■日進工具株式会社

■日工機材株式会社

技術主幹 村田 秀和氏

代表取締役 大場 治氏

共同事業会新説の匠

産業ポータルのご案内」 サイバーナビ株式会社

代表取締役 山﨑 慎也氏

日本を元気にしたい一

■柳下技研株式会社

久保 貴義氏

■株式会社狭山金型製作所

ニアリング

「高付加価値を生み出す高硬度材・超硬合金の 微細精密切削加工」

「ジェイコア〜加工段差ゼロを目指して」 株式会社ジェイネット 代表取締役 理化学研究所 技術員 長谷川 浩幸氏

■武藤工業株式会社/株式会社ムトーエンジ

「ものづくりの現場を日本に残して―ものづくりで

■JASPA株式会社/(一社)日本中小企業

「新鋭の匠、航空機産業参入支援などの取組み」 新鋭の匠 理事長 阿部 和幸氏 「@engineerのサイバーナビ社より、航空機

<航空機部品製造技術フェア>特別セミナ

可能な金属3Dプリンタの開発について」 武藤工業株式会社 3Dプリンタ事業部

「金型磨きの最新無人化技術」 柳下技研株式会社 精密部品事業部

営業部 営業技術課 担当員

■三菱電機株式会社

「高精度加工はお任せあれ!! 三菱ワイヤ放電 加工機 MP.MX 最新技術紹介」 放電製造部 放電加工機設計課 原 永志氏

■ユニオンツール株式会社

「硬合金向けUDC-F シリーズの最新加工事例 と鋼材向けシリーズのご紹介」 エンドミル工具開発課 課長 渡邉 英人氏

■ダイジェット工業株式会社

「革新的新コーティング材種を採用した切削 工具とその加工事例」 技術部 材料開発課 課長代理 春日 良一氏

■アルテック株式会社

「最新3DプリンタのDDM活用と未来について」 デジタルプリンタ事業部3Dプリンタ営業課 主任 坂 義博氏

-プンセミナー 前回開講実績

■コダマコーポレーション株式会社

「TOPprogressによるプレス金型設計・製作の 効率化事例|

経営者様のための最新CAD/CAMセミナー」 「TOPmoldによるプラスチック金型設計・製作 の効率化事例」

「金属3Dプリンターを使ったものづくり」 代表取締役 高関 二三男氏

■株式会社タカノ 「進化する無給油化技術」

営業部 部長 関口 聡一郎氏

■オーエスジー株式会社

「高精度荒加工の高能率提案!! デザインセンター 開発グループ エンジニア 遠藤 康幸氏

■株式会社イワタツール

[「高硬度材穴あけによる金型」製作工程短縮] 代表取締役 岩田 昌尚氏

■オートデスク株式会社

Automotive and The Future of Making ~複合材料が変える、自動車デザイン および製造プロセス~|

ーション スペシャリスト 「複合材性能向上のための樹脂流動解析と 複合材解析ソフトの連携利用」

株式会社計算力学研究センター 技術営業部 次長 河辺 康正氏

■三菱日立ツール株式会社

「高精度金型加工に向けた新コンセプト [Hi-Pre2]

技術本部 ソリューションセンター 主任技師 城戸 好信氏

■株式会社本山合金製作所

「金型における精密加工の現状」 製造部 部長 池内 恒二氏

■株式会社ナノソフト

「プレス金型設計者におくる3次元CAD活用の ための方法」 大町 勝一郎氏

■三菱マテリアル株式会社 「最新工具と加工方法による高能率加工の提案」 開発本部加工技術センター センター長補佐 田中 洋光氏

■株式会社データ・デザイン

「ハンディ型3Dスキャナを活用した新たな3D デジタルプロセスト テクニカルユニット 技術 G 二見 祐也氏

■株式会社JSOL

「自動車部品の溶接組立とシミュレーションの

適用について」 エンジニアリングビジネス事業部 中田 将夫氏 「JSOLの考える自動車部品生産技術部門様 向けCAEソリューション

エンジニアリングビジネス事業部 加納 俊哉氏

中山 逸穂氏

「金型生産の新時代!段取りから加工までの最適化」 デザインセンター 加工技術グループ エンジニア

「形彫放電加工機の最新技術 | 「最新切削加工技術のご紹介」

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 「3Dプリンターを活用した生産性向上のご支援」 BS直販統括事業推進本部ソリューションビジネ 推進部 SIビジネス推進第二課 主任 齋藤 義之氏

株式会社先端力学シミュレーション研究所 体式会社元端ガチンスエレーション 別のが 「樹脂射出成形解析ソフトASU/MOLDの技術 を利用した発泡成形およびSMCシミュレーション」 取締役 兼 営業·事業企画部 部長 池田 貴氏

■まんてんプロジェクト

「まんてんプロジェクトの取り組みと今後の展開」 専務理事 愛 恭輔氏

(一社)次世代型航空機部品供給ネットワークOWO 「(一社)次世代型航空機部品供給ネットワーク の設立から現在の活動と実績」

(一社)次世代型航空機部品供給ネットワーク ÒWO OWO 事務局長(OWO元会長) 金 炫修(キン ヒョンスウ)氏 FAA&JCABプラ

イベートパイロット



主な出展規程

1. 出展料金の請求と支払い

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出展料金の請求書を送付します。これに基づき、出展者は、2016年1月29日(金)までに出展料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとします(お支払いは銀行振込のみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません)。なお、出展料金を含め本展示会に関する全ての請求についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展申込みの受理、成立期日について

出展者が事務局の定める手続きを行い、その出展申込書(申込みシステムの利用、出展申込書の郵送、ファックス、eメールなど)を事務局が受領した時点で申込成立とします。ただし、出展内容が展示会趣旨にそぐわない場合や出展資格を有しないと事務局が判断した場合は出展をお断りする場合があります。

3. 出展申込の取消(キャンセル)

- (1)出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、 やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更(出展小間数の一部 キャンセルなど)を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局 に提出し、承諾を得て下さい。
- (2)出展申込締切日の翌日(2015年12月23日)以降、やむなく出展の 取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて 下記の出展取消料をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者 からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
2015年12月23日~2016年1月 9日	出展料金の 50%
2016年 1月10日~2016年1月31日	出展料金の 75%
2016年 2月 1日 以降	出展料金の100%

- (3)出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとします。出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。
- (4)事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出展料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用することができるものとします。
 - ①2016年1月29日(金)までに出展料金を完納しない場合
 - ②事前申告なしに搬入日の2016年4月19日12時までに小間の 使用を開始しない場合
 - ③出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告 によっても改善が認められない場合

4. 小間位置の決定

- (1)小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全般の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、後日通知します (予定)。出展者は小間の割当について、苦情や出展取消等を申し出ることはできません。
- (2)主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために 小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。 その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はでき ないものとします。

5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・ 貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出展料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。なお、共同出展する社名などを申込時に事務局へ通知するものとします。

7. 出展物および展示装飾に関する規制と撤去・搬出

- (1)小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される 期日内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局 により撤去・搬出できるものとします。
- (2)いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更に同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。
- (3)事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出展料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。 出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10.展示会開催の変更・中止

- (1)主催者は、天災、その他の不可抗力により会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、これによって生じた損害の補償や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する責任を負わないものとします。なお、展示会開催を事前に中止した時は、既納出展料金より既発生の費用を控除した残額の一部を返金します。
- (2)出展申込みは、変更された会期等について有効とし、会期変更などを理由として出展を取消すことはできません。

11.規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。 出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。

インターモールド振興会

お問い 合わせ

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 (株)テレビ大阪エクスプロ内

TEL: 06-6944-9911 FAX: 06-6944-9912

E-mail: infoim2016@tvoe.co.jp